

**油ヤシ・プランテーション開発事業の拡大に関する
モウイラ地域ワークショップ
モウイラ決議 2017**

2017年2月6日～9日、40名余りの地域コミュニティのリーダーたちが、カメルーン、コートジボワール、シエラレオネ、ブラジル、日本、そしてガボンから集まり、ガボンを始めアフリカ全土における、油ヤシ・プランテーション開発の拡大を制限する戦略について話し合うため、ガボン南部に位置するンゴウニ州都、モウイラに一堂に会しました。

ワークショップのまとめとして、また、企業 Olam Gabon による油ヤシ・プランテーション開発の影響を受けている2つの村（ムボウコ村、ヤンバ村）への現場訪問での所見を受けて、参加者は以下を決議します。

- 土地に関する国内法の改正を促し、慣習による土地の所有権を認めさせる
- アグリビジネス企業とガボン共和国政府で交わされた契約の不透明さを告発すると同時に、契約が公開され事業の履行に関してより一層の透明性が確保されるよう求める。
- ガボン共和国におけるアグリビジネスの履行に係る環境問題について、告発する覚書を作成する。
- アグリビジネスによる影響を受けている地域コミュニティが、自分たちの利益を護るため、地域にモニタリング委員会を設置する。
- 女性団体を組織する。
- 権利を護るために、地域コミュニティの能力を向上させる。
- 地域コミュニティを対象に、テーマ別の研修プログラムを企画・実施する
- アグリビジネスの影響を受けている、多国籍の地域コミュニティ同盟をつくる
- 地域コミュニティの要求を明らかにする

女性たちに特化した決議と行動：

- アグリビジネスの事業から派生する、全ての形態の乱用や暴力に女性たちが対峙できるようになるために、女性の能力を向上させ権利を護る。
- アクションの枠組みと、アグリビジネスの影響を受けている、あるいは受ける可能性がある村々の女性たちが経験を共有できる枠組みを構築し、女性たちが単一樹木プランテーション、特に油ヤシ・プランテーションの内外において、自分たちの利益を護る闘いに携わる。
- 大規模油ヤシ・プランテーション内外の女性たちが体験している、土地の乱用や妨害について、調査を実施し行動を起こす。

GRAIN「アフリカにおける油ヤシ・プランテーション産業の拡大に対するコミュニティの対応能力強化事業」（助成：地球環境基金）